

# 東北地方 1か月予報

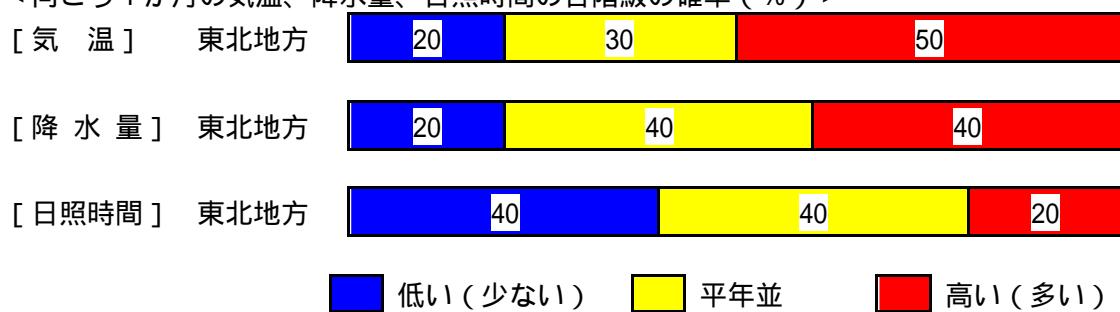
(6月25日から7月24日までの天候見通し)

平成17年6月24日  
仙台管区気象台発表

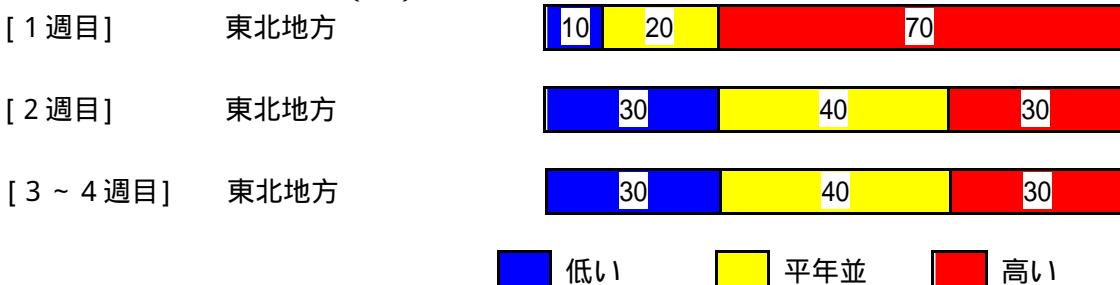
## <予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。  
前線や気圧の谷の影響で、東北地方は平年と比べ曇りや雨の日が多いでしょう。  
向こう1か月の平均気温は高い、降水量は平年並が多い、日照時間は平年並か少ないでしょう。  
週別の気温は、1週目は高い、2週目は平年並、3～4週目は平年並でしょう。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



## <気温経過の各階級の確率(%)>



## <予報の対象期間>

1か月	：	6月25日(土)～7月24日(日)
1週目	：	6月25日(土)～7月1日(金)
2週目	：	7月2日(土)～7月8日(金)
3～4週目	：	7月9日(土)～7月22日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は7月1日  
3か月予報：7月25日(月) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ( )	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	20.0	181.1	135.3	18.4	19.4	20.7
新庄	21.3	192.9	136.0	19.8	20.7	22.0
若松	22.4	170.9	145.8	20.8	21.8	23.2
深浦	20.3	136.9	168.7	18.7	19.6	21.1
青森	20.0	94.2	168.8	18.3	19.3	20.9
むつ	18.5	120.6	143.3	16.8	17.8	19.3
八戸	19.0	114.4	156.5	17.3	18.3	19.9
秋田	21.7	179.9	159.1	20.2	21.0	22.5
盛岡	20.7	159.1	132.6	19.2	20.1	21.5
宮古	18.8	142.7	133.2	17.1	18.2	19.7
酒田	22.1	190.9	159.7	20.5	21.4	22.9
山形	22.2	148.4	136.5	20.5	21.6	22.9
仙台	20.9	174.3	111.6	19.3	20.3	21.8
石巻	20.3	142.2	131.1	18.7	19.7	21.1
福島	22.4	156.5	116.1	20.7	21.8	23.3
白河	21.0	198.4	111.7	19.3	20.4	21.8
小名浜	20.8	146.4	130.3	19.4	20.2	21.6

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3~+0.5	86~112	91~108
東北日本海側	-0.3~+0.4	84~114	90~106
東北太平洋側	-0.3~+0.5	84~112	90~112

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.6	-0.7~+0.6	-0.6~+0.6
東北日本海側	-0.5~+0.6	-0.6~+0.6	-0.5~+0.6
東北太平洋側	-0.7~+0.5	-0.9~+0.6	-0.6~+0.7

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。

階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成17年6月24日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(6月25日~7月24日):

前線や気圧の谷の影響で、東北地方は平年と比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は高いでしょう。

## 1週目(6月25日~7月1日):

明後日(26日)にかけては、高気圧におおわれ概ね晴ますが、その後は前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は高いでしょう。

## 2週目(7月2日~7月8日):

前線や気圧の谷の影響で、東北地方は平年と比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

## 3~4週目(7月9日~7月22日):

前線や気圧の谷の影響で、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

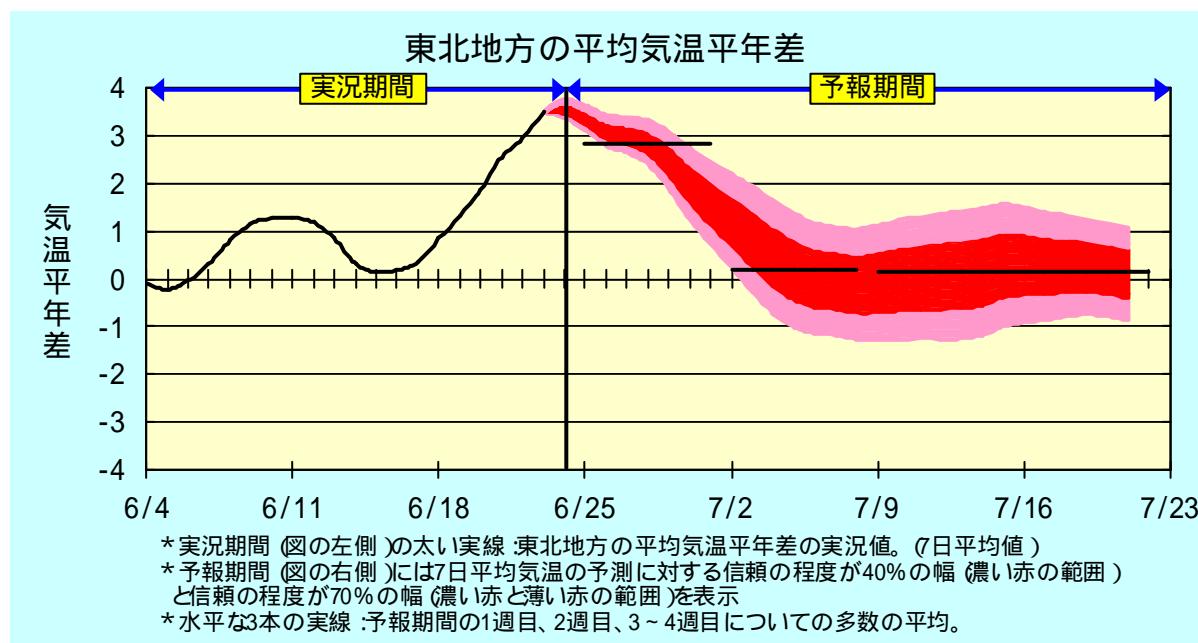
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	11.6日	2.7日	2.9日	6.0日
東北太平洋側	9.5日	2.0日	2.5日	5.0日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目を「高い」、2週目、3~4週目を「平年並」と予測している。予報は数値予報とおりとする。

なお、数値予報の信頼度は大きい。

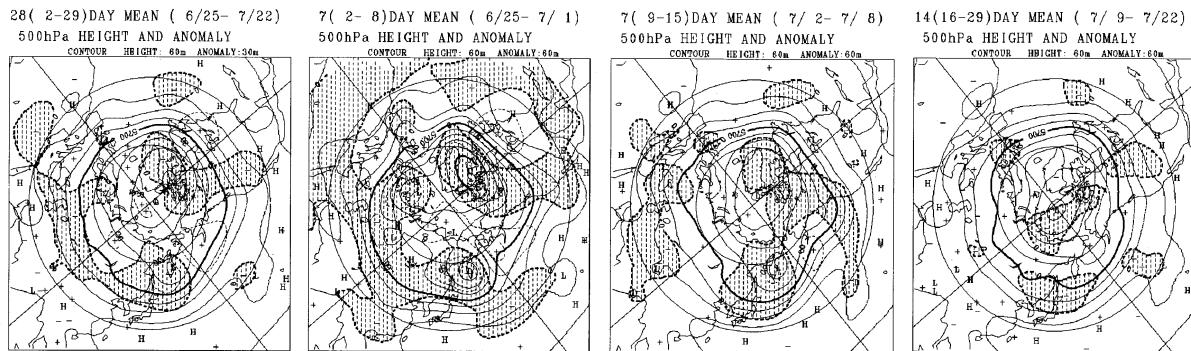


### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、北日本の一帯は負偏差に覆われるものの、日本付近は平年よりも西への張り出しが強い亜熱帯高気圧に覆われ正偏差。

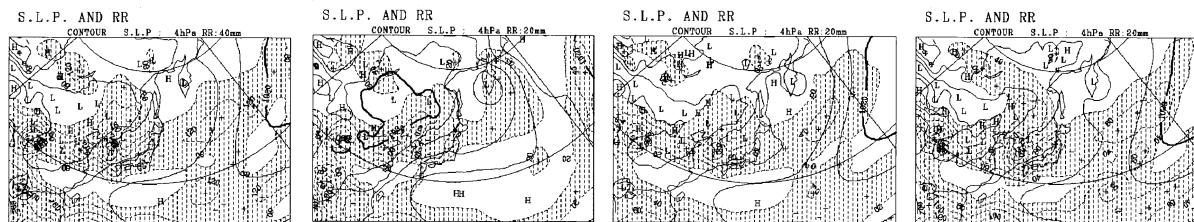
1週目は亜熱帯高気圧の北への張り出しが強く、日本付近は北海道の一部を除き正偏差。2週目は北からの負偏差が東日本以北を覆う。日本付近は南の亜熱帯高気圧との境で前線帯。3~4週目は2週目と同様だが、寒気の南下の程度は弱い。



地上気圧と降水量：

月平均では、太平洋高気圧の西への張り出しが強いが、北への張り出しが弱く、華中から東北地方にかけては帯状にまとまった降水域が予想されている。

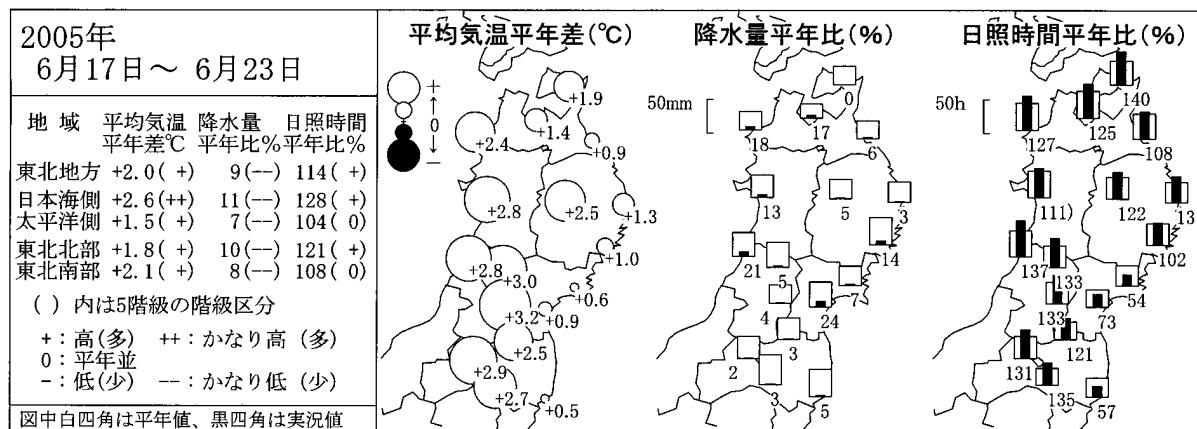
1週目は、太平洋高気圧の北への張り出しが強く、晴れて暑くなる日もある見込み。2週目は、40°N沿いに低圧部が見られ、それに対応して日本付近にはまとまった降水域がかかる。3~4週目は2週目よりは弱いが、前線に対応する低圧部やまとまった降水域が日本海を中心に見られる。



### 4. 最近1週間（6月17日～6月23日）の天候の経過

この期間、17日は低気圧や寒気の影響で雨となる所が多くったが、その後は高気圧に覆われ日本海側を中心に晴れる所が多くった。しかし、高気圧の位置が北に偏る日もあったため、東北太平洋側には湿った東風が入って沿岸部を中心に曇りや霧となる所もあった。21~22日にかけては晴れて気温が上がったため、東北日本海側を中心に真夏日となり、酒田(22日)と山形(21日)では6月の最高気温の記録の2位を、秋田(22日)、新庄(21日)では3位の記録を更新した。

平均気温は東北日本海側でかなり高く、東北太平洋側で高い。降水量は東北地方でかなり少ない。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)